

令和 5 年 2 月 15 日(水) 発行



商大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



第16回 商大附高祭

Only Now

つかみ取れ!

今しかできない青春を



第91号

2023・2

挨拶



父母の会会長
中嶋 勝利

新年明けましておめでとうございます。令和五年卯年の新年を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。

会員の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は父母の会の活動にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと未だに新型コロナウイルス感染症は県内でも猛威を振るい日常生活、ロシア・ウクライナの侵攻に端を発した国際情勢の緊迫化・原材料高騰、円安等で先行き不透明が強まった一年でした。

学校生活環境は、発展的に戻りつつあると感じる次第です。

父母の会の活動として三年振りに総会、各学年学級懇談会、マナーアップ運動の参加では、昨年四月ヘルメット着用義務化がスタート

し、着用の様子、登校時の生徒の明るい挨拶を肌身感じて感銘と反面、減らない自転車事故に対して『安心・安全』の環境作りを整備しないとならないと感じました。

商大附祭の開催は、生徒・父母の会の皆様にとって大いに気持ちの昂る行事でした。初日生徒のみ、最終日では、保護者の限定参加とコロナ禍前の正常時を思い出す程各クラスの出し物、生徒と先生の趣向を凝らした仮装は、一際楽しく・感動を与える姿に共感でき、父母の会の c a f e も大いに盛り上がりました。

当たり前の環境・毎日訪れる学校生活とは、何か？この状況下で『不安』『感謝』『感動』忘れかけていた感受性が豊かになり、経験した行く末に『自主』『自立』が社会へ出た時に非常に大事な事を実感する時が来ます。

高校生活は、限りある時間の中で一生の宝物。それは、経験・友人・携わる人との関わりを育てている場だからこそ、三年間を有意義に過ごして頂きたいと感じます。

最後に会員皆様方のご健勝と御多幸を祈念申し上げますと共に商大附の益々のご発展を心よりお祈り

申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

挨拶



校長
安齊 義宏

新年あけましておめでとうございます。父母の会会員の皆様には、平素より本校の教育活動に対しましてご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

今年の干支は寅年から卯年に替わりました。三学期の始業式の中で全校生徒にも話しましたが、卯年の意味は兎の跳躍力から、飛躍し向上する年と言われています。

この三年間、我慢を強いられてきた私たちにとって個人はもちろん、社会全体がより過ごしやすい年になることを願います。

さて、四月からは在校生も学年が上がり、新たな目標に向かいます。卒業生は新しい環境の中での生活が始まります。

「頑張ってください。」と願うのは簡単ですが、子どもたちの胸の内は、ワクワクした期待や楽しさを想像している反面、環境や人間関係が変化する不安や、自分の夢がぼんやりとしていて何をしたいのかわからないと悩んでいる人も実は多いのではないかと思います。

悩みの多くは、過去への執着と未来への不安だと言われています。だとすると、今この瞬間だけに意識をフォーカスして、今を大切に生きることが人生を充実させる秘訣でもあると思います。

「芸術は爆発だ！」で有名な岡本太郎さんの言葉で、「この瞬間、瞬間に、若さとか、年よりとか、力があるのか、才能とか、金とか、あらゆる条件を超えて、その持てるギリギリいっぱいの内容で挑み、生きるということだ。」という言葉があります。つまり人生は、その瞬間、瞬間の積み重ねでしかありません。子どもたちにはどんな事でもその今という瞬間に心を燃やし全力で生きてほしいと願います。何か少しでも心にとまったその瞬間を逃さず、まずはやってみる。「継続できなければ

本部役員挨拶

「今年度をふり返って」

副会長 水井 悟

意味がないという常識」それに囚われて、結局何もできずにいるより、三日坊主でもいいから、その一瞬一瞬に全てをかけることが大切なんだということです。そして私たち大人も子供たちの成長を見守りながら今を大切に飛躍の年にしていきたいと思います。

今しかできない青春を」と題して、二日間開催されました。父母の会としましては、コーヒーショップ「ANGEL Cafe」を出店し、皆様のご協力により、大盛況のうちに終了することが出来ました。

生徒たちは、変化や失敗を恐れず、この困難を乗り越え、一歩一歩確実に成長したと思います。最後に商大附高の益々の発展と皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

副会長 神宮 美和子

新年明けましておめでとうございます。父母の会の皆様におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年度も新型コロナウイルス感染症の流行により、依然として予断を許さない状況が続きました。

四月からは成人年齢が二十才から十八才に引き下げられ、三年生は、より責任ある行動を求められた一年だったと思います。

十月には第十六回商大附高祭「Only Now」掴み取れ!

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年一年を振り返ってみますと、役員になって初めての行事にいくつか参加させて頂きました。その中で印象に残っているのは商大附高祭です。父母の会「エンジェルカフェ」を二日間出店しながら役員間の親睦交流も図れました。又沢山の方がお越しくださり本当にありがとうございました。そしてもう一つは群馬県高等学校PTA指導者研究会です。群馬県の高校の役員が

副会長 中林 桂

一堂に会する規模に圧倒されましたが、PTA活動の役割についての研究発表は大変勉強になりました。最後になりましたが皆様のご多幸と商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのお力添えいただき誠にありがとうございました。

高校生の保護者一年生になり、もうすぐ一年を迎えようとしています。何もわからないまま月日が過ぎ、中学生の頃に比べると手がかからなくなっただけかと思いましたが、また父母の会の活動では、マナーアップ運動や、商大附高祭などがあり、子供達の様子を見る事が出来ました。

マナーアップ運動では元気よく挨拶してくれる生徒もいる中、自転車通学でヘルメット未着用の生徒がいて少し残念な気持ちになりました。少しずつでも自動車のシートベルトの様に当たり前の習慣になる事を願います。商大附高祭へ

書記 徳井 直機

の参加は叶いませんでしたが、子供達はとても楽しめた様子でした。今後もコロナウイルス感染拡大やウクライナ情勢など暗い話が多いですが、子供達が楽しい高校生活を送っていただける様、先生方と力を合わせていきたいと思えます。

新年おめでとうございます。父母の会会員の皆様方におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

未だ新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されている中、校長先生を始めとする教職員並びに関係者の方々にご尽力いただきましたことに感謝を申し上げます。

数年ぶりに有観客で開催された商大附高祭では、生徒達の元気な姿や笑顔を間近に見る事が出来て、こちらも楽しい気持ちにさせてくださいました。様々な制限がある中で仲間達と協力し連携を取りながら準備し、実施出来た経験はこれからの高校生生活および人生においても役立つ事と思います。

最後になりましたが、会員の皆様方のご多幸と商大附高の益々のご発展、そして一日も早いコロナ

エンジェル カフェ 特集



父母の会本部役員の方々による「エンジェルカフェ」スイーツと挽きたて淹れたてのコーヒーが大好評。ほっと一息できる温かな場所となりました。スタッフの皆様、お疲れさまでした。



終息をお祈り申し上げます。

書記 山岸 千冬

季節の移り変わりと共にコロナ感染者の人数も変動し、それに伴い学校行事や研修等の開催が決定される様な一年だったと思います。去年は子供達が楽しみにしていた文化祭がありました。毎日遅くまで仲間と一緒に力を合わせ準備

をし無事開催出来た事は、何事にも代えがたい素晴らしい思い出になったと思います。また見学にいらしたご家族も、自宅で見える姿と違う子供達に驚きを隠せなかったり成長を感じ取れる機会になったと思います。先生方のご尽力により感謝致します。また文化祭を通して、今まで交流する事が出来なかった父母の会のメンバーとも

絆が深まり、改めて人との関わりを持つという事の大切さを感じる事が出来ました。

新年は「癸卯」。これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると言われています。皆様にとってご多幸であり飛躍する年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

会計 原田 千佳子

新年明けましたおめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

制限されていた行事や部活の試合などが少しづつ以前の様に出来

三年生保護者より 旅立つ我が子へのメッセージ

山口 文子

真新しい制服に袖を通し、緊張して吐きそうと、始まる高校生活への不安を口にしていた貴女。気がつけばもう三年生になり、間もなく卒業ですね。

コロナ禍の中、三年間の高校生活は貴女が想像し、期待していた

る様になり親子共々嬉しく思った一年でした。

コロナ禍の真つ只中に入学した我が子でしたがその中でも貴重な高校生活を充実したものにしてくださった先生方には、感謝致しております。

以前の生活が少し戻ってきた事で当たり前の事がどんなにありがたい事だったかと再認識した一年だったと思います。子供達には、この当たり前の事に感謝する気持ちを忘れず今年も全力で何事にも向かって欲しいと願います。

最後になりましたが、商大附高の益々のご発展と皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



ものとは違い、お友達と放課後や休日に出かけることも、学校行事も、チャレンジ出来ずに諦めることが多く、悔しかったと思います。それでも、学校で起きた事を楽しそうに話してくれて、三年間何事もなく元気に明るく過ごせたこと、その全てを支えてくださった方々に、心から感謝いたします。そし

て、文句も言わずにやり遂げた貴女を誇りに思います。

四月から始まる次のステージは、また期待と不安で一杯と思いますが、その全てを楽しみ、怖がらずに前に進んで行ってください。

お母さんはまたいつものように見守っています。

卒業、おめでとうございます。

大堀 葉月

楽しみにしていた行事の中止の連絡を受けて下を向く私に、「学校は楽しいよ、商大附に入ってしまったね。」と言ったことがありましたね。先生方やクラスメートやサッカー部の仲間にも恵まれたのでしよう。この場をお借りして支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。時には登校したくない日もあったかもしれませんが、前を向いて通い続け、もうすぐ三年皆勤というところまできました。周りの皆様に支えられてここまで来れた事を忘れないでくださいね。

また、六歳から始めたサッカーを高校生まで頑張り続けて、たくさんの経験を得ることができました。この先、大きな強みとなるはずです。次のステージでも自分ら

しく頑張ってください。これからも応援しています。

卒業おめでとう！

中嶋 美樹子

臨時休校で始まった高校生活。

楽しみにしていた行事が中止になりましたが、日々の高校生活は充実したものと変わったのではないのでしょうか。辛い時期もありましたが、たくさんの友達や先生方に支えて頂き本当に感謝しています。

四月からは大学生です。新しい環境に戸惑うこともあると思いますが、困った時は周りに助けを求めめることも必要です。また困っている人には手を差し伸べることができる人であって欲しいと願います。

今までお世話になった先生方や友達、そしてこれから出会う人々との関わりを大切に、人生が豊かになるよう大いに学び、持ち前の明るさ・パワーで未来を切り開いて下さい。応援しています！

金井 佳子

もうすぐ卒業です。過ぎてしまえば「あつ」という間の三年間、

いろいろな場面でコロナ騒動の中を駆け抜けた高校生活でしたね。巡り会えた先生方や友達との絆は、目に見えなくても永遠に続きます。

次のステージでは、自分の目や心に映るもの、そして周囲の人々との関わり方も大きく変わり、今までの学びの延長とは違うな、と感じられるかもしれません。これからも挑戦は続きます。失敗は付き物だけど、失敗から学ぶことは多い、それでも失敗の言い訳は通じない場面も多くなります。

人生は長いようで短い。心身の健康を第一に考え、今やるべきことに真摯に立ち向かい、努力することを惜しまぬ決意で、周囲の人々への「感謝」の心を持ちながら大きく羽ばたき、いざ旅立て！

茂木 綾子

卒業おめでとう。大変な三年間を頑張った貴方へ言葉を贈ります。

今まで、どういう生き方が幸せなのか考えたことはありませんか？人は余程のへそ曲がりでない限り幸せを求めています。幸せは求めると逃げたり、周りから見ると幸せに見える人でも実は違ったり：幸せは自分で決めるものです。

今は、多様な生き方が選べる時代ですが、好きな生き方ができるかというところでありません。

何がベストか？自分の能力や性格等を考えるとうしたらいいか悩むと思います。でも決めるのは貴方です。聴く耳はしっかり持ちつつ自分で進む道を決め、頑張ってくださいと思います。

最後になりますが先生方におかれましては、生徒達をご指導頂き有難う御座いました。

有坂 理絵

卒業おめでとうございます。三年間の高校生活は、あつという間でしたね。

最後まで諦めずに取り組んだ部活動お疲れ様でした。何度も挑戦し、苦労して取得した資格は、自分の事のように嬉しく思いました。

入学当初からコロナ禍だった為か、友達との交流もなかなか進まない様子でしたが、徐々に気の合う友人もでき安心しました。家では自分から話さない交友関係でしたが、友人の部活発表会に見学に行くなど今まで見られなかった一面を知り成長を感じました。

四月から新たな生活が始まりま

す。目指す資格取得の為さらに努力を怠らず、悔いのないよう頑張ってください。

お世話になった先生、友人に感謝を忘れずに新しい生活を楽しんで過ごせるよう願っています。

佐野 恵美子

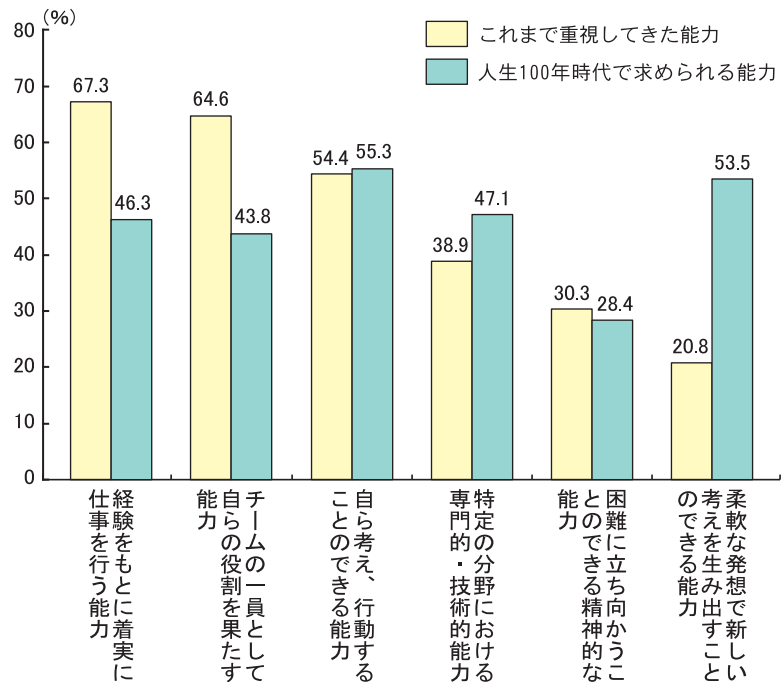
あつという間の三年間がもう少して終わってしまいますね。入学当時はコロナ禍で登校も出来ず、不安な事も沢山あったと思います。そんな状況でも前向きな姿勢でリモート授業に取り組む姿はとても立派でした。登校する生活が始まり少し心配でしたが、先生や友達の話をしてくれる度、少しずつ安心する事が出来ました。クラス委員長の仕事も率先して引き受け、一生懸命取り組む姿に、親としても成長を感じさせられました。もちろん先生方や友達の協力があったからこそ、やり遂げる事が出来たと思います。私自身親として未熟な人間ですが、息子の言葉や手助けにありがたさを感じながら一緒に成長出来た事、すごく感謝しています。これからも、相談し合える親子でいようね。卒業おめでとう。

【進学状況】

新年あけましておめでとうございます。父母の会会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと存じます。ご挨拶が遅れてしまいました。今年度より進学指導主事の役を仰せつかることになりました。佐藤正樹と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度の12月時点での入試結果ですが、国公立大学の総合型選抜・学校推薦型選抜での合格者は15名でした。その内訳は埼玉大学1名、群馬大学3名、群馬県立県民健康科学大学2名、群馬県立女子大学1名、前橋工科大学2名、高崎経済大学4名、公立諏訪理科大学1名、都留文化大学1名となっております。昨年度の現時点での合格者も15名であったことから昨年同様合格者数となっておりますが、近年のコロナ禍の影響もあり、近隣の国公立大学志向がかなり高まっていると考えられます。また、私立大学を公立化した大学の人気も急激に高まっています。一般受験の国公立大学進学希

これまで重視してきた能力と 人生100年時代に求められる能力



(注) 企業に対する調査で複数回答。

望者は数日後に前期試験を控えていると思います。学習を継続し、ぜひ合格へ向けて頑張ってください。

一方私立大学では昨年度とほぼ同数の合格者が出ています。原稿執筆時はまだまだ私立大学の一般

入試は始まっていますが、希望する進路に向けて努力を重ね、多くの生徒が目的を達成できることを祈っています。また、合格内定

者には大学や進路先からの課題等に前向きに取り組むとともに、スラシップ等の入試にも積極的に

挑んでほしいと思います。また、入学までの時間を自らのスキルアップにつなげてほしいと願っています。

さらに、高崎商科大学・短期大学の1期系列校推薦(専願内部推薦)も11月19日に行われ、大学では29名(会計4名、経営25名)、短大11名の合計40名が合格しました。昨年度に比べると十数名ほど少ない人数ですが、一昨年度とほぼ同数の合格人数ということで、若干の増減はありながらも、この人数で推移していくと思われま

最後に、現1年生から高校のカリキュラムが大幅に変更され、令和7年度からの共通テストも大改革が行われる予定となっています。いままであった『外国語・数学・理科・国語・地歴公民』という教科に加え、新たに『情報』が共通テストに加わります。すでに新カ

リキュラムにおける入試教科を通過している大学もあり、特に国立大学では情報を共通テストで必修にする予定の学校がかなり多いようです。入試に向けて準備を怠らないようにしてください。

また、2年生は現行のカリキュラムで行われる最後の入試ということもあり、浪人を避けたい受験生が出願校のレベルを下げるいわゆる安定志向に走ることが考えられます。自分のやりたいことは何か? また、その目標を達成するためにどんな進路を考えればいいのか? 情報を調べ、分析することで、進路実現に向けて今後の高校生活を有意義なものにしていくってください。(進学指導主事・佐藤 正樹)

【就職状況】

群馬県労働局では、令和4年10月末現在における来春の高校新卒求人・求職・内定の状況をとりまとめました。求人倍率は、3・50倍で前年9月末(2・89倍)を0・61ポイント上回り、平成8年3月卒業者以降最も高い水準となりました。

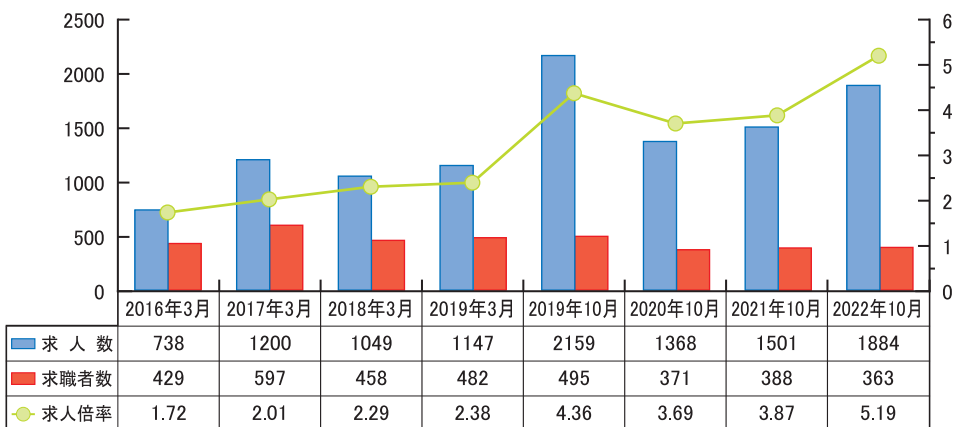
就職内定率は、67・5%で前年開始の9月末(70・8%)に比べ、3・3ポイント減となりましたが、9年連続で60%越えの高い水準を維持しています。求職者数は2、399人で前年9月末(2・571人)に比べ6・7%減となっています。

就職内定者数は1、619人で前年9月末1、821人に比べ11・1%減となっています。また求職者数は8、393人で、前年9月末7、422人に比べ、13・1%増加し、企業の採用意欲が高くなっています。

ところで、高崎管内の求人数は10月末時点で1、884人、就職希望者数は363人、昨年は383人であり20人少なくなっています。

就職内定者数は294人、求人倍率5・19倍、内定率81・0%となっています。就職希望者

求人数・求職者数・求人倍率の推移 (高崎管内)



は、少子化の影響もあり年々少なくなっているようです。求人票の配布は昨年と同じ7月1日から

したが、就職試験の開始が、一昨年はコロナの関係で9月から10月へ変更となり全てが1カ月遅れとなりましたが、今年は昨年同様、

9月16日から就職試験が始まりました。受験生は模擬面接や試験の準備をして臨みましたが、残念ながら数名が不採用という結果になりました。この生徒たちは、今年も「頑張れ高校生」が高崎管内新たに学校に来る求人や、WEB

検索、ハローワークに行き紹介してもらおうなどして内定への努力をしました。結果少しずつ内定者が出るようになり、12月下旬には自衛隊や市役所を含め就職希望者53名の内定をいただくことができました。その後追加の生徒も出てきていますので全力で対応に当たりたいと思っています。それでも残念ながら不合格になってしまった場合は、希望職種の変更、角度を変えての企業受験、ハローワークに相談しアドバイスをもらうなど、多方面から指導をしたいと考えています。職種としては、高校生は製造業の求人が一番多く、次にサービス、販売、今年は一

が不採用のケースが多かったようです。二次三次募集も来ましたが、すべて製造業でした。

自分に合った職種を探し、さらに具体的な会社を選び出すことは決して簡単なことではありません。しかも決められた時間内に決断しなければならぬわけですから。そのためにも、就職指導部では、早い時期から就職希望者に具体的な内容の指導を行って行きたいと思っています。

高校生の就職の選考は一人一社制ですが、10月1日以降は一人二社までの応募が可能となります。売り手市場とは言われていますが、遅くなればなるほど求人は当然少なくなりそうです。

就職するにあたって、迷ったり、どんな職種が自分に向いているのか悩んだりしている時は、是非、就職指導担当に来てもらえれば、必ず希望の企業が見つかるまでサポートしますし、同時に模擬面接、試験対策も指導します。どうぞ遠慮なく相談してください。最後に、企業に採用されるためには、あらためて、言葉づかいや身だしなみなどに注意して欲しいと思います。また、体調管理、言葉

遣い、マナーや常識についても同様です。企業にとって一番重要視される「コミュニケーションの取り方」についても普段から身に着けておくことが、とても大切です。

(職業指導主事 水上 浩)

生活指導部より

ネット時代の道徳教育

世の中では今という時代のコンプライアンスを理解できず、周から疎まれ白い目で見られてしまう人達がワイドショーで度々取り上げられています。各界の大物や政治家から日常目にする様々な人々まで、しかも洋の東西を問わないようです。

社会が成熟し、幼稚な言動や下品な冗談に迎合できない風潮が蔓延し、周りの悪に敏感な人々が正義を振りかざし、SNSを通じて断罪する。もちろん正すべき事は正すべきです。ところが一見正しい行為のようにみえますが、行き過ぎた指摘は注意が必要です。勝手にそうした現場を撮影しSNS

にあげることで知らないうちに加害者なっていたり、その行為を逆にネットで叩かれてしまう。それやってみようという次にどんなことが起るかというのを常に想像しなければなりません。そのことで相手がどう思うようになるかを想像する。そうした教育が重要です。今まで道徳教育という名のもとに色々な物語が語られてきました。しかし、それらの多くが昔話と言われるものでした。

現代のハラスメントやいじめ・からかいなどでは相手への想像力不足が原因の一つです。加害者側はその意識が希薄ですが、被害者側は決して忘れることのできない記憶となります。自分がされたら、どんな思いをするのか。相手を思いやる想像力を持たせる教育が本当に大切です。しかも昔話などには無く、今と言う時代の事例に基づいた物語が。令和四年、誹謗中傷屈辱罪への厳罰化が施行されました。ネット時代の道徳教育に本校でも力を入れていく必要性を痛感しています。ご家庭でもぜひ、機会をみて話し合われて下さい。

(生徒指導主事 田沼稔夫)

令和3年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

令和3年度決算につきましては、令和4年5月30日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に続きこれまで過去20年間「Aランクの状態」（正常状態）に位置しており、財務分析の結果からも財政基盤は安定している状況にあります。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所において閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度に行った教育研究等の諸活動に対応する全ての収入及び支出を、全て現金預金で行われたものとみなして表示し、教育研究活動をどの程度の規模で行ったのか、また、借入金や施設設備等の支出がどの程度あるかなど、支払資金の収入及び支出の顛末を明らかにする書類です。

令和3年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の1,698,392千円を加え、合計で5,021,564千円となり、補助金収入、受取利息・配当金収入及び前受金収入等で増加し、学生生徒等納付金収入、寄付

金収入等の減少及び資金収入調整勘定により、予算に対しては106,801千円の減少となりましたが、昨年からは577,786千円の増加となっています。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等の各支出が減少したことで、翌年度の繰越支払資金は、予算に対し22,620千円減少して2,068,262千円となりましたが、昨年からは369,869千円的大幅な増加となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,694,017,000	1,693,731,600	285,400
手数料収入	59,405,000	59,381,500	23,500
寄附金収入	16,885,000	16,717,000	168,000
補助金収入	793,451,000	802,232,031	△ 8,781,031
資産売却収入	303,315,000	303,315,000	0
付随事業・収益事業収入	25,985,000	25,411,790	573,210
受取利息・配当金収入	19,250,000	25,524,102	△ 6,274,102
雑収入	100,891,889	102,541,113	△ 1,649,224
借入金等収入	50,000,000	50,000,000	0
前受金収入	317,000,000	318,494,500	△ 1,494,500
その他の収入	339,978,231	355,483,827	△ 15,505,596
資金収入調整勘定	△ 290,204,500	△ 429,660,209	139,455,709
前年度繰越支払資金	1,698,392,734	1,698,392,734	
収入の部 合 計	5,128,366,354	5,021,564,988	106,801,366
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,417,124,392	1,410,643,280	6,481,112
教育研究経費支出	591,387,049	571,888,948	19,498,101
管理経費支出	175,212,812	161,749,330	13,463,482
借入金等利息支出	2,879,683	2,879,683	0
借入金等返済支出	91,090,000	91,090,000	0
施設関係支出	175,082,350	173,568,414	1,513,936
設備関係支出	43,309,815	41,455,982	1,853,833
資産運用支出	510,975,388	510,975,388	0
その他の支出	42,958,313	42,408,313	550,000
(予備費)	15,187,434		15,187,434
資金支出調整勘定	△ 27,724,043	△ 53,356,517	25,632,474
翌年度繰越支払資金	2,090,883,161	2,068,262,167	22,620,994
支出の部 合 計	5,128,366,354	5,021,564,988	106,801,366

② 事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての収支の均衡状態を明らかにして、学校法人の経営状況を把握するための書類です。

令和 3 年度の事業活動収入は、予算に対して 20,162 千円増の 2,733,612 千円、事業活動支出は予算に対して 46,841 千円減の 2,415,427 千円で、基本金組入前当年度収支差額は 318,185 千円の収入超過となりました。また、施設・設備の整備や育英基金等の基本金組入額

の合計が 142,121 千円となり、基本金組入後の当年度収支差額は 176,063 千円の収入超過となりました。

これにより、前年度繰越収支差額の△57,627 千円を加え、翌年度繰越収支差額は 118,436 千円の収入超過となりました。

また、単年度の収支状況の指標となる経常収支差額（＝経常収入（教育活動収入計＋教育活動外収入計）－経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計））は、318,531 千円の収入超過となり、経営判断指標となる経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）も 11.7 %と「正常状態」の値となっています。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,694,017,000	1,693,731,600	285,400
		手数料	59,405,000	59,381,500	23,500
		寄附金	16,830,000	16,945,981	△ 115,981
		経常費等補助金	781,251,000	790,048,031	△ 8,797,031
		付随事業収入	25,985,000	25,411,790	573,210
		雑収入	100,891,889	102,541,113	△ 1,649,224
		教育活動収入計	2,678,379,889	2,688,060,015	△ 9,680,126
	支出の部	人件費	1,422,559,780	1,416,078,668	6,481,112
		教育研究経費	818,860,235	799,796,115	19,064,120
		管理経費	184,604,366	171,162,611	13,441,755
徴収不能額等		5,135,250	5,135,250	0	
	教育活動支出計	2,431,159,631	2,392,172,644	38,986,987	
	教育活動収支差額	247,220,258	295,887,371	△ 48,667,113	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	19,250,000	25,524,102	△ 6,274,102
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	19,250,000	25,524,102	△ 6,274,102
	支出の部	借入金等利息	2,879,683	2,879,683	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	2,879,683	2,879,683	0
	教育活動外収支差額	16,370,317	22,644,419	△ 6,274,102	
	経常収支差額	263,590,575	318,531,790	△ 54,941,215	
特別収支	収入の部	資産売却差額	3,315,000	3,315,000	0
		その他の特別収入	12,505,000	16,713,164	△ 4,208,164
		特別収入計	15,820,000	20,028,164	△ 4,208,164
	支出の部	資産処分差額	20,374,783	20,374,783	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	20,374,783	20,374,783	0
	特別収支差額	4,554,783	△ 346,619	△ 4,208,164	
	[予備費]	7,854,854		7,854,854	
	基本金組入前当年度収支差額	251,180,938	318,185,171	△ 67,004,233	
	基本金組入額合計	△ 181,417,863	△ 142,121,479	△ 39,296,384	
	当年度収支差額	69,763,075	176,063,692	△ 106,300,617	
	前年度繰越収支差額	57,627,530	57,627,530	0	
	基本金取崩額	0	0	0	
	翌年度繰越収支差額	12,135,545	118,436,162	△ 106,300,617	
(参考)					
	事業活動収入計	2,713,449,889	2,733,612,281	△ 20,162,392	
	事業活動支出計	2,462,268,951	2,415,427,110	46,841,841	

- ・教育活動収支は、教育研究活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・教育活動外収支は、経常的な収支の内、財務活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・特別収支は、資産の売却・処分、施設設備寄付金(含む現物寄付)、施設・設備に対する補助金等の臨時的な収入・支出を区分したものです。

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表す書類です。

令和3年度末の総資産は、前年度末に比較して339,573千円の増加となり、本年度末11,539,801千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が大学・短大のWi-Fi設備整備や3号館空調設備整備、新学生駐車場整備等、高校の大橋キャンパス隣接地取得や第3校舎サッシ改修、プロジェクター設備整備等、また幼稚園の園舎改修等により資産の増加がありました。合計では前年度に比べ34,134千円の減少となりました。「特定資産」では育英基金や周年事業、施設設備拡充資産への増加により合計では前年度に比べ110,925千円の増加、「その他の固定資産」では有価証券の減少等により前年度に比べ103,706千円減少して、「固定資産」全体では、本年度末9,323,175千円となり、前年度より26,915千円減少しました。

また、「流動資産」は、学生生徒等納付金や補助金

の増加に伴い現金預金等が増加したことから、前年度に比べ366,488千円増加し、本年度末2,216,626千円となりました。

負債の部では、「固定負債」が657,122千円で、高校隣接地の取得に際し市中金融機関より借入を行いました。日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金等が減少したことにより前年度に比べ21,101千円減少し、「流動負債」は475,001千円で、前年度に比べ42,489千円増加しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して21,388千円の増加となり、本年度末1,132,124千円となりました。

また、純資産の部では、「基本金」が第1号、第3号の基本金で組入れが行われた結果、合計で10,289,240千円となり、前年度に比べ142,121千円増加しました。「繰越収支差額」は176,063千円増加し、前年度末の繰越支出超過額57,627千円と合わせて、本年度末の繰越収支差額は118,436千円の収入超過となりました。

これらの結果、純資産の合計(正味財産)は10,407,676千円となり、対前年度で318,185千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	9,323,175,197	9,350,090,772	26,915,575
有形固定資産	7,491,615,173	7,525,749,937	34,134,764
特定資産	701,329,687	590,404,299	110,925,388
その他の固定資産	1,130,230,337	1,233,936,536	△ 103,706,199
流動資産	2,216,626,045	1,850,137,146	366,488,899
資産の部合計	11,539,801,242	11,200,227,918	339,573,324
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	657,122,356	678,224,080	△ 21,101,724
流動負債	475,001,931	432,512,054	42,489,877
負債の部合計	1,132,124,287	1,110,736,134	21,388,153
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	10,289,240,793	10,147,119,314	142,121,479
第1号基本金	10,075,304,162	9,934,182,683	141,121,479
第3号基本金	58,936,631	57,936,631	1,000,000
第4号基本金	155,000,000	155,000,000	0
繰越収支差額	118,436,162	△ 57,627,530	176,063,692
純資産の部合計	10,407,676,955	10,089,491,784	318,185,171
負債及び純資産の部合計	11,539,801,242	11,200,227,918	339,573,324







硬式野球部



漫画研究部



ボランティア部



華道部



茶道部



応援同好会



理科部



写真部



軽音楽部



文芸部



家庭科部

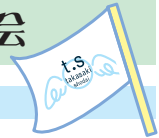


書道部



ご来場ありがとうございました

2023 関東大会・国体・全国大会出場結果報告 & 出場予定大会



バドミントン部

- R4.12.17 **令和4年度関東高等学校選抜バドミントン大会**
 男子学校対抗 準優勝 (全国選拔出場)
- 12.18 F2-3 荻原 大輝 S2-1 三田 史向 F2-7 小林 蒼暉
 F2-6 立石 柚月 F1-1 大出 悠人 F1-2 堀 聖那
 F1-8 佐藤 零
 男子シングルス ベスト 8 S2-1 三田 史向
 男子ダブルス ベスト 16 F2-3 荻原 大輝・S2-1 三田 史向



ペップアーツ部

- R4.12.11 **2022 JAPAN CUP 日本選手権 カラーガード部門** 3位
 F3-10 石井 美妃 中澤 知香 F3-2 大滝 柚依 F3-1 山本 詩織
 F3-4 山本 久令亜 F3-8 須田 愛未 F3-10 小林 杏音
 F3-11 森田 碧奈 F2-4 富所 干咲 F2-6 高橋 花菜
 F2-7 瀧澤 紅杏 F2-8 田中 愛梨 F2-10 岡安 結里
 F1-1 清水 菜 松原 のん F1-4 阿久津 彩羽 植松 美帆
 F1-4 小池 陽葵 F1-5 金田 璃子 小林 真帆 増田 楓華
 F1-5 吉澤 優妃 F1-7 石丸 優奈 河原 唯愛
 F1-11 境原 梨蘭 藤井 沙羅 松井 晴恵



- R5.1.29 **第6回カラーガード・マーチングパーカッション全国大会**
 カラーガード部門 高等学校の部 金賞
 F3-10 石井 美妃 中澤 知香 F3-2 大滝 柚依
 F3-4 山本 詩織 F3-8 須田 愛未 F3-10 小林 杏音
 F3-10 小林 杏音 F3-11 森田 碧奈 F2-4 富所 干咲
 F2-6 高橋 花菜 F2-7 瀧澤 紅杏 F2-8 田中 愛梨
 F2-10 岡安 結里 F1-1 清水 菜 松原 のん
 F1-4 阿久津 彩羽 植松 美帆 小池 陽葵 F1-5 金田 璃子
 F1-5 小林 真帆 増田 楓華 吉澤 優妃 F1-7 石丸 優奈
 F1-7 河原 唯愛 F1-11 境原 梨蘭 藤井 沙羅 松井 晴恵



演劇部

- R5.1.21 **第58回関東高等学校演劇研究大会 (桐生会場)** 優良賞
 F3-3 小島 唯菜 F3-7 武井 柊磨 猪熊 友芽 F3-8 佐藤 穂華
- 1.22 F3-8 善如寺 莉乃愛 S3-1 田村 昂平 S3-2 眞下 結奈
 S3-2 松井 美薫 F2-1 池田 さくら F2-2 小俣 絢子
 F2-3 本庄 夏珠 F2-4 浅川 心美 F2-7 井上 珀人
 F2-8 長井 朱夏 F2-10 小笠原 菜菜 F2-11 山本 愛寿
 S2-1 尾崎 伯 田村 理希 稲本 未和菜 S2-2 石塚 未姫
 F1-1 菊池 莉心 高木 菜々 F1-3 佐藤 心音 F1-5 高崎 明音
 F1-6 内田 光史 F1-7 塚越 海斗 F1-8 高橋 健太郎
 S1-1 佐俣 瑠希奈 為貝 日菜



空手道部

- R5.1.21 **令和5年度 関東高等学校空手道選抜大会**
 女子団体形 北ブロック 4位
- 1.22 F2-9 小櫻 愛里 關塚 愛麻 F2-11 高田 蓮菜
 F1-1 辻本 南月 F1-8 高橋 華 F1-11 江口 若奈
 女子団体組手 北ブロック 3位
 F2-9 小櫻 愛里 關塚 愛麻 F2-10 吉積 心春
 F2-11 高田 蓮菜 F1-8 石田 海華 高橋 華 F1-9 関 七彩
 F1-11 江口 若奈
 女子個人組手
 -48kg級北ブロック 準優勝 F2-10 吉積 心春
 -53kg級北ブロック 準優勝 F1-9 関 七彩



放送部

R5. 1.29 第20回関東地区高等学校放送コンクール(埼玉大会) 優良賞

F1-1 植原 帆乃花 砂長 勇菜 竹中 鞠月 山科 玲
 F1-2 永山 結菜 力武 紗彩 奥村 紗弓
 F1-3 塚越 菜々 小林 陽奈
 F1-6 塚本 璃子 富田 涼音 F1-10 須藤 愛那
 S1-2 堀越 利奈 S1-2 塩原 菜々美



バトントワリング部

R4.10.22 第57回バトントワリング関東大会 銀賞

F3-3 佐藤 愛美 F3-4 横尾 星来 F3-5 重倉 星夏 松本 渉美 F3-8 佐藤 琴海 並木 綾音
 F3-11 山口 桜空 F2-3 松島 凜 F2-4 高橋 穂菜美 F2-5 川野 由珠 濱井 幸那
 F2-6 阿部 由梨愛 齋藤 愛澄 志村 優奈 萩澤 結愛 F2-7 藍場 眞優 牧野 優香 三木 里加子
 F2-8 大塚 聖 F2-9 小柳 麗羽 佐藤 芽生 F2-10 蘭 珠羽 田島 さくら S2-1 戸丸 希咲
 F1-5 長坂 心暖 F1-6 徳江 里光央 F1-9 岩井 幸恵 三友 菜緒 F1-10 丸山 愛未
 S1-2 大橋 紗蘭 加藤 愛 横尾 桃名

テニス部

R4.12.24 令和4年度(第42回)関東選抜高校テニス大会 兼
 全国選抜高校テニス大会関東地区予選

12.25 千葉県白子町アポロコーストテニスコート

予選リーグ 第一試合 対茗溪学園(茨城) 3-2 勝
 第二試合 対浦和学院(埼玉) 4-1 勝
 第三試合 対湘南工大附属(神奈川) 1-4 負

この結果により二日目は5~8位決定トーナメントへ

順位決定リーグ 一回戦 対東京学館浦安(千葉) 1-4 負
 二回戦 対浦和麗明(埼玉) 2-3 負

全体としては8位で大会は終了したが、この結果をもとに3月に福岡で行われる全国選抜高校テニス大会への出場権を獲得
 個人でも県予選の結果より2年澤入春が個人シングルスでも出場



スケート

R5. 1. 7 関東高等学校スケート競技選手権大会 スピード競技
 (伊香保リンク) 男子500m F3-6 猿田 悠斗 11位
 男子1000m F3-6 猿田 悠斗 19位R5. 1.21 第72回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会
 (伊香保リンク) 男子500m F3-6 猿田 悠斗 出場
 男子1000m F3-6 猿田 悠斗 出場

編集後記

昨年秋にフジテレビでドラマ「silent」が放映され大きな話題となりました。脚本は本校卒業生・生方美久さんによるものであることはご存じのことと思います。

作品では、聴力を失った主人公とその恋人や彼らを取り巻く人々の思いが、時にやさしく時に切なく丁寧に描かれていました。劇中での主人公とのやり取りは手話が主となり、どんな時もお互いに向き合って、手話と表情で伝えなければ会話は成立しません。背中に向かって呼びかけても聞こえなかったり、手をつないで並んで歩いたりす

ることもできませんでした。画面には字幕が流され、一時的に無音になることもありました。

私たちの多くは、声を使って自由に話すことができますが、一方でしっかり気持ちを伝え、理解できていることはどれくらいあるのでしょうか。一緒にいても、それぞれのスマホの画面を見ながら話している人たち。本当の気持ちや言いにくいことはあとでLINEする人。目を見て、表情を読みながら、面と向かって直接相手に思いを伝えることや、相手の気持ちを正面から受け止めることが苦手になっているのかもしれない。(教頭 大澤)